2016 ST 1.J+

偶像礼拝の営所の外に出て、幕の内側に入る

*神を認識する

詩歌:414,543,556

補充(中): 27, 416, 415, 503

LS: 出174編

十戒(律法)は神のであることを証します

/出20:2-17 出20:6 注2

出エジプト記で、十戒は証しの板と呼ばれています。戒めは二つの面で神について証しします

- A 神のパースンを証しする:十戒は神が唯一の神であることを証しします
- 神が何であるかを証しする:十戒は神が愛、光、聖、義の神であることを証しします
- *神の心の願いを認識する

神は律法と規定を公布し、神のみこころを人に認識させます /出24:12

神の心の願い

神の心の願いは、「なだめの場所」で人と会い話すことです(注入/分与)/出25:22 人がキリストを隠されたマナ、芽を出した杖、命の法則として享受するなら、 神の団体の表現をもたらし、神の定められた御旨を成就します。/ヘブル9:3-4

(それは、神の証しとなり、人が神を知るようなることであり、人が努力して従い守るということではありません。) 第20章で、律法とその規定が神によって公布されました。そして第24章で、神はモーセを山頂に召して、証しの板を与えました

A 律法はキリストの予表です:律法は神の言葉また神の証し(神の表現)として、神の御言また神の証し(神の表現)としてのキリストの予表です

/ヨハネ1:1, 18. 啓19:13. 1:5. コロサイ1:15

キリストは律法の実際です:神の証しは、神の具体化であるキリストを表徴し、神が何であるかの生ける描写です

/コロサイ2:9

C ただキリストが注入され、その霊によってキリストを生きることによってのみ、律法の実際を守ることができます /出25:22: マタイ16:24: ガラ2:20: ピリ1:21: ローマ8:4 建法を守ることの実際は、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給によって、絶えず霊を活用して自己を否み、神の証しであるキリストを生きる生活です。 それは神の拡大され拡張された表現のためです。

【出20:6 注2】神のみこころ

十戒、特に最初の五つは、神と彼の民の婚約の条件を与えました。律法の最高の機能は、彼の選びの民を彼との一にもたらすことです。それは、妻が彼女の夫との一にもた らされるようにです。……神の民が神を愛し、時間を費やしして彼の言葉の中で彼と交わるとき、神は彼らに彼の神聖な要素を注入し、彼らを彼の配偶として彼らと一にし、命、 性質、表現において彼であるのと同じにします。……わたしたちが律法を守るのは、私達の思いや意志を活用することによってではなく、(参照ローマ7:18-25)、私達の夫としての 主を愛し、それによって彼の命と性質にあずかり、彼と一になり、彼の拡大また表現となることによってです。

*大多数の民の状況

Ⅲ しかし、神の民は律法の戒めを破りました;イスラエル人が偶像で神を置き換えた事は私達への警告です。 /出32:18-19 I コリント10:5-7 証しの板を打ち砕いたことは、イスラエルの子たちが律法を受ける前に、すでに律法と律法の契約を破っていたことを示します:

偶像とは、(1)神を置き換えるもの、また(2)わたしたちが主以上に愛するものです。偶像で神を置き換える事は、以下の三つの結果に導きます:

A 神の戒めを守ることができなくなる:人が神を偶像で置き換えることは、人が神の戒めを守ることができないようにします

/エゼ14:3;エレ2:13

- 私達を腐敗させ罪深いものをもたらす:私達の心の中の偶像は、私達が主以上に愛するあらゆるものであり、私達を腐敗させ、多くの罪深い事物をもたらします

/出32・7:ローマ1・18.21.23

C 神を尋ね見いだすことができなくなる: 自分の内側に偶像を持つ者はみな、外側で神を捜し求めても、神を尋ね見いだすことはできません /エセ*14:3.5:エレ29:13

第一篇 (続き)

*モーセの選択

像

拝

0

V 神の仲間モーセは,偶像礼拝の営所から離れ,神の臨在と語りかけの中へ入りました

/出33:7-11.14

イスラエルの子たちが金の子牛を拝んだ後、モーセは営所の外のある場所に移動しました。なぜなら、主の臨在と語りかけがそこにあったからです

A 偶像礼拝の原則を認識する:私達は金の子牛の偶像の原則を見て、警告を受ける必要があります。神の贖われた民が造った偶像は、彼らを偶像礼拝の営所としました

1 自己の装飾:金の耳輪を着けたのは、自己を装飾するためでした。これは、自己を装飾することが偶像礼拝に導くことを示します

/出32:1-2;33:5-6 I コリント10:5-7

2 サタンは神が与えたものを強奪する:輪の金は、イスラエルの子たちがエジプトから脱出する前に、神によって彼らに与えられ、幕屋の建造に用いられるものでした

/出35:5

3 賜物がある者が偶像を造った: 金の子牛は異教の偶像ではなく、神が立てた真の大祭司アロンによって造られたものでした。

エホバの御名の中でその子牛を造り、神にささげ物をささげ神を礼拝する方法で、率先して偶像を拝みました

/出32:4-6

4 礼拝における混合:偶像礼拝は、真の神を礼拝することを装っており、神を礼拝することにおいて混合があります。

/列王上12:26-30

5 自分が享受したものを礼拝する: 子牛は食べるためであり、享受を表徴します。この享楽と娯楽が彼らの偶像であったことを示します

/ I コリント10:7.11

✓ 真の神の御前での礼拝:私達が注意するのは主の臨在(御顔)です。彼の御顔には満ちあふれる喜びがあります(外側の享楽を尋ね求めるのではなく)

/詩16:11

3 宗教の営所を離れ、神の臨在と語りかけの中へ入ります:主の臨在がもはや民の間になかったので、モーセは彼の天幕を移し、<u>彼の天幕は神の天幕となりました</u> /ਖ਼33.7

- 1 宗教の営所を離れる:営所は宗教的な人を表徴し、彼らが主に属しているのは名ばかりで、実際は偶像を拝み、主ご自身以外のものを拝み、尋ね求めています /マタイ15:7-9;啓18:2,4
- •営所の発展の歴史:まず金の子牛を拝んだ後のイスラエルの子たち:主が地上で生活していた時のユダヤ教:後ほど、召会は性質を変え、宗教のバビロンとなりました。(今日のキリスト教)
- 2 神の臨在と語りかけに入ります: モーセが彼の天幕を移して、それを偶像礼拝の営所から分離した後、<u>人が自分の仲間に語るように</u>、主は顔と顔を合わせて彼に語りました /出33:11 モーセは神と親密であったので、神の心を知る人であり、神の心にかなう人であり、神の心に触れることができた人でした。ですから、彼は満ち満ちた程度にまで神の臨在を持っていました
- •私達は<u>幕の内側に入り、偶像礼拝の営所の外に出て</u>、主との最も近い、最も親密な関係を持つ必要があります。それは、私達が<u>神との共通の権益にあずかる人になり</u>、神に用いられて、地上での彼の事業を完成することができるためです。

/出33:11,14

経験

* 私達が持つべき経験

V 私達は幕の内に入り、そして営所の外へ出る: /出25:22 ヘブル4:12 4:16 6:19-20 來13:13

_ キリストの臨在の中へと入り、彼の言葉を聞き、彼で注入され、その霊によってキリストを生き、律法の実際を生かし出し、神のみこころを満足させる ヘブル人への手紙の目標と究極の結論は、私達が幕の内側に入り、営所の外に出て、神の御旨を成就することです

A 営所の外に出る: 営所が表徴しているのは、地と人に属している宗教組織であり、人を神のエコノミーから遠ざけます。

営所の外に出ることは、主を拒絶し追い出した宗教から出て来ることを意味します。

B 幕の内に入る :今日<u>実際の至聖所は私達の霊の中にあります</u>。私達は霊の中にいて天のキリストを享受すればするほど、ますます宗教の営所の外に出て、 苦難を受けたイエスに従います。

- 真の新約の務めは、私達を霊の中の、すなわち幕の内側のキリストに対する享受へともたらし、また私達を強めてイエスに従って営所の外に出させ、彼のからだのために彼の苦難の交わりにあずからせます。 / II コリント11:23-33:ピリピ3:10
- C 幕の内側に入ること(の意義)は、私達の霊の中へと入ることです:私達は霊に戻り霊を訓練するとき、幕の内側に入り、神の民のためにとりなします
 - 1 燃え立たせと訓練:私達は霊を燃え立たせ、私達の思いを霊に付け、私達の霊を活用し、用い、使わなければなりません /Ⅱ テモテ1:6-7:ヘブル4:12
 - 2 見つめと注入:幕の内側に入り、天のキリスト、栄光の中の人と直接の接触を持ち、彼を見つめ、彼によって伝達され 注入されます

/ Ⅱ コリント3:18

3 享受と表現:彼を隠されたマナ、芽を出した杖、命の法則として享受し、その結果、神の団体の表現をもたらして、神の永遠の定められた御旨を完成します

/ヘブル9:3-4